

特集 1

令和6年度 市長インタビュー

豊田市長

太田 稔彦

ずっと自分らしく暮らせるまち
豊かな心と雇用があるまち
一人ひとりに寄り添うまち

インタビューの様子が視聴できます

放送日／4月1日(月)～7日(日)

<テレビ> ケーブルテレビ ひまわりネットワーク
市政情報提供番組「とよたNOW」

※4月2日(火)以降は市ホームページでも視聴可

<ラジオ> ラジオ・ラビート(78.6MHz)
市政情報提供番組「ホットニュースとよた」

コロナ禍を経て、より元気で安全・安心なまちをつくる思いで4期目に臨む太田市長。
令和6年度に進めるまちづくりについて語ります。

令和6年度のまちづくり

新型コロナウイルスは、ありとあらゆる面で影響を及ぼしました。とりわけ、地域のつながりの面で影響が大きかったという印象です。したがって地域のつながりをコロナ禍になる前に戻して「元気で明るくわくわくするまち」にしていきたいと考えています。

その一方で、1月1日に発生した能登半島地震の状況を見て、改めて「安全・安心なまち」にしていくことが大切だと感じました。

この2つを車の両輪として着実に回しながら、次の3点をポイントとして、まちづくりを進めていきます。

1 ずっと自分らしく暮らせるまち

誰もが自分らしく暮らし続けたいと思っているのではないのでしょうか。

豊田市では、昨年「地域共生社会推進全国サミットinとよた」を開催しました。地域共生社会とは、まさに誰もが自分らしく暮らすために、お互いを尊重し、支え合っていく社会のことです。地域共生社会を推進していくことで、市民の皆さんが自分らしく暮らし続けられるまちの実現を目指したいと思っています。

また、ずっと自分らしく暮らしていくためには、人口問題がとても大きな鍵になると考えています。

日本の人口は、2008年の約1億2,800万人をピークに減少しています。そして、2100年には半減して約6,300万人になってしまうという予測もあります。そのような人口減少の時代にあっても、自分らしく暮らし続けられるかどうかはとても大きなテーマだと思います。市民の皆さんの願いが叶うようなまちを是非つくっていきたいです。

2 豊かな心と雇用があるまち

豊田市の強みは、豊かな自然、歴史、文化、スポーツなど、あらゆる資源の中で多くのリアルな体験の機会があることです。そのような資源を最大限生かす様々なイベントや学びの機会をできるだけ増やしたいと思っています。

雇用の面では「ものづくりの中核」「車のまち」としての豊田市の強みを生かし、デジタルトランスフォーメーション[※]をはじめ、有効な手を打っていきます。働く皆さんが様々なことにチャレンジできるような雇用や産業の政策を進めていきたいと思っています。



※デジタルトランスフォーメーション…デジタル技術を取り入れることで、新たなサービスなどを創り出し、人々の暮らしにおける新たな価値を生み出すこと



3 一人ひとりに寄り添うまち

例えば、孤独や孤立、不登校になる人の数は、コロナ禍になる前から増加傾向でしたが、コロナ禍にその問題が顕在化したという印象です。

市民の皆さんそれぞれが、様々な悩みを抱えていると思います。そのことに対して豊田市としてどう向き合うかが非常に大きな課題だと感じています。豊田市の行政組織のあり方も課題ですし、これまで展開してきた施策についても、マス（多数）で捉えていたものを、これからは個のニーズに応えられるような施策にして展開していくことが必要だと思います。まさに地域共生社会を実現するために、豊田市の組織や取組はどうあるべきか、また、まちの中の様々な仕組みをどうしていくかといったことを総合的に捉える必要があると考えています。そういったものを適切に整備することで、一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残されないまちを目指すことができると考えています。

コロナ禍を経て考えること

コロナ禍で、リモートワークが普及し、ありとあらゆる事業、体験の場が縮小、あるいは中止されることが繰り返されました。したがって今年度は、リアルな場を多く生み出し、コロナ禍になる前の雰囲気を取り戻したいと思っています。幸い、豊田市には多くの資源があるので、いかにそれを生かせるかが今年度のポイントになります。

例えば、4月26日(金)に開館する博物館。コン



開館前の博物館を視察する様子

セプトは「みんなでつくりつづける」です。博物館に来ることによって過去と向き合い、そしてそこからまた未来が始まるという、リアルな歴史の場としての博物館。それもリアルを感じられる一つの象徴的な取組です。ラリー事業もそうですし、他の様々なイベント、地域でのイベントもリアルな場として展開されると思います。今年は元気で明るい年になりますよ。

市民の皆さんへのメッセージ

皆さんは、昨年4月と今年4月で、暮らしにおいて様々なことが変わっていると思いませんか。コロナ禍での私たちの経験は、決して無にすることはできないと感じています。私は、コロナ禍になる前に皆さんがどんなまちで、どんな暮らしをしたかったのか、どんなことを期待していたのかをもう一度思い出し、そしてコロナ禍での経験をしっかり生かしながら、「元気で明るくわくわくするまち」「安全・安心なまち」を目指していきます。

特集2 みんなで つくりつづける 博物館へ行こう！

多様な自然環境、歴史や文化、産業。

とよたの歩みや魅力を物語る資料や記憶が詰まった場所、博物館。

見て、触れて、とよたの魅力を再発見！

そして、皆さんが感じ、遺したことが未来へつながるように。



2024.4.26 OPEN



圧巻の
高さ7.8m

①「とよたモノがたり」 (壁面集合展示)

当館の目玉です。4面全てに、歌舞伎の衣装やツキノワグマの剥製といった、とよたの歴史、民俗、産業、自然などに関する展示品がずらりと並びます。また、流行していた雑誌や音楽プレーヤーなどの展示もあります。当時手にしていた人が懐かしむ一方で、目にしたことがない人は新鮮さや驚きを感じることでしょう。文化や記憶の一端がここにあります。



館長 村田真宏

博物館を皆さんが集う場にすることを目指しています。皆さんには、地域の自然や人々の営みなどにふれ、「とよた」の未来づくりに役立てていただきたいです。ご来館を心からお待ちしています。

●問合せ
博物館
(☎)85・0900、
FAX85・0902、
✉hakubutsukan
@city.toyota.aichi.jp

おすすめスポット！



随所に
仕掛けが

②大きなジオラマ

とよたのまちのジオラマ。自然や景観を表現しています。精巧な作りはもちろん、あっと驚くような演出にも注目してお楽しみください。関連する自然資料などを展示した引き出しもあります。



語りかけてくる

③時代人が語る記憶

縄文時代から現代までの資料などを紹介しているスペース。電子パネルの前に立ってみてください。その時代に生きた人物が映し出されます。そして、その当時のことを語ってくれます。



迫力の
大きさ

④矢作川の底に埋もれていたムクノキ

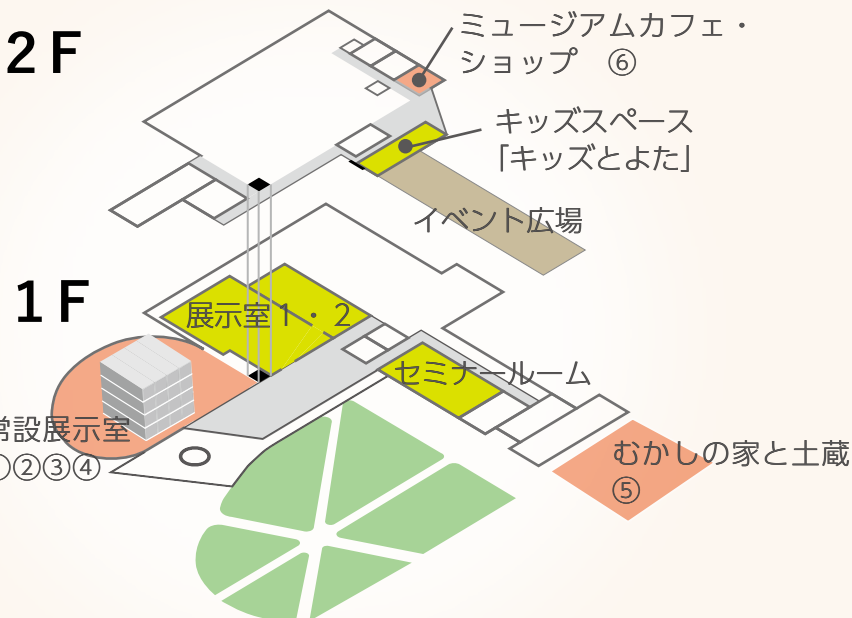
縄文時代に生育していたもので、さしわたし2.5mを超える巨木です。木の下に集った縄文時代の人々や、実をついばんだ鳥の姿が思い浮かぶようです。



タイム
スリップ

⑤むかしの家と土蔵

閉館した郷土資料館（陣中町）から移築した、旧平岩家住宅（市指定文化財）と土蔵。ここでイベントやワークショップを開催する予定です。



ほっと
一息

⑥ミュージアムカフェ

博物館オリジナルメニューなどで皆さんをお待ちしています。館内を見終えた後、是非くつろいでください。

みんなできつくりつづ

博物館のコンセプトは、**みんなできつくりつづける博物館。**

ここでは、博物館と関わりをもつ市民の皆さんを紹介します。
ともに博物館をつくりつづけ、豊田市の魅力を未来につなげていきます。

“ 運営スタッフとして 携わります ”

博物館の楽しみ方ガイド

博物館と来館者をつなぐガイドの皆さん。開館前に、研修で市の歴史や文化などについて学んでいます。来館者がいつ来ても楽しめるように、また、来館者自身に魅力に気付いてもらえるように、楽しく対話する姿勢で活動します。



たにざわ きよたか
谷澤 清隆さん

生まれてからずっと豊田市で暮らしています。来館者に地元の良さを伝えたくて参加しました。もっと市のことを勉強しますが、来館者との対話で新たに気付くこともあるかと楽しみにしています。それも「みんなできつくりつづける」ということでしょう。



“ 森づくりに携わりました ”

どんぐりの森プロジェクト

約2年前から、校内などでどんぐりの種を苗木になるまで育ててきた、今年3月まで小学6年生だった皆さん（約2,600人）。2、3月にその苗木を博物館の庭園に植樹しました。森になるまで順調に育ちますように。



かとう もね
加藤 百音さん

クラスみんなと毎日水やりをして、芽が出るまで育てたことが楽しかったです。博物館で木の成長を見るのが楽しみです。数年後に家族と見に行きたいし、友だちとここで同窓会をするのも面白そう。私が大人になったら、子どもに見せてあげたいです。

つづける博物館って？

皆さんとともに「つくりつづける博物館」の姿を探りました



開館の約1年前に、イベント「みんなでつくる博物館」を開催しました。市民・企業の皆さんによる展示や、火おこし・化石取り出し体験など、皆さんとともにとよたの歴史・文化・自然の魅力伝える新博物館での取組を試行しました。

建設にあたって、様々な人に話を聞きました

おもちゃで遊びながら、豊田市ならではの
ことを学べるキッズスペースにしてほしい

スペースを囲むのは市産木材で、ぬくもりを感じられます。五平餅やアユといった市の食を模した玩具があり、遊びながら郷土食を学べます。



目が見えづらい人も博物館を
楽しめる工夫をしてほしい

手で触れて楽しめる、県指定文化財「手呂の銅鐸」の原寸レプリカを制作しました。また、各所で音声や点字のガイドを利用できます。



NEWS

開館イベントを開催します

4月26日(金)～5月26日(日) @展示室1

- ①よろいを着て「合戦図屏風」の世界へ
- ②コロナをこえてプロジェクト(2020年)記憶映像展示

5月3日(金)、4日(土) @イベント広場

お庭でマルシェ(美術館同時開催)

など

そのほか、坂茂氏(博物館設計者)講演会も予定されています

秋から企画展を開催します

10月12日(土)～12月8日(日) @展示室1・2

開館記念展

「旅するジョウモンさんー5千年前の落とし物ー」

縄文時代にスポットをあて、日本各地の遺跡の出土品からジョウモンさん(縄文人)の生活を紹介します。国宝・重要文化財も多数展示予定。5千年前を旅する気分を味わいませんか。



伝茨城県出土深鉢
(田中縄文コレクション)

DATA

豊田市博物館

- 所在地 小坂本町5-80 ■駐車場 150台
- 開館時間 午前10時～午後5時30分(入場は午後5時まで)
- 休館日 祝日を除く月曜日、年末年始、展示替え期間[※]
- アクセス 名鉄豊田市駅から徒歩15分、東名高速「豊田IC」から15分



ホームページ

ACCESS



※美術館駐車場(P2)や、市民文化会館駐車場(P3)に駐車可

市制73周年記念式典において顕彰、表彰を行いました

3月2日 市民文化会館

●問合せ 秘書課 (☎34・6601、FAX33・7155、✉hisho@city.toyota.aichi.jp)

豊田市の発展に貢献した人や目覚ましい活躍をした人に顕彰、表彰を行いました。

●市政功労者 ■地方自治の発展に尽くした功績(5人)



こたま よしかず
樹神義和氏



すげうらひろふみ
杉浦弘高氏



つづき しげお
都築繁雄氏



みえ ひろみ
三江弘海氏



さくもと しげお
作元志津夫氏

●豊田市表彰(個人・団体、50音順、敬称略)

■地方自治功績者(61人)

青木健光	浅井保孝	浅見富士男	安藤和明	安藤祐太	磯部祐輔	伊藤喜代司	岩田淳	鷓居准基
宇井孝洋	宇野大輔	大内健央	岡野秀明	岡本涉	小川雅之	荻野賢一	奥田輔	押切英二
角池謙一	粕谷祐介	勝原啓介	北川敏崇	窪谷文克	黒野準	後藤隼	近藤圭太	権藤祐太
坂井啓亮	櫻井到	澤田健佑	塩谷雅樹	爾見佳高	篠澤秀明	篠田直希	清水昇平	杉本寛文
杉山勇介	鈴木勝宏	鈴木重久	鈴木孝英	鈴木丈晴	筒井陽介	徳留悠磨	外山勇志	長谷川和士
原田勝行	日當浩介	深津澄男	福岡拓也	古井寛之	星野要	増岡洋文	三浦洋照	水野博史
水野博之	三宅孝洋	宮本剛志	山内輝人	山内弥	山田貴嗣	吉野英国		

■教育功績者(4人・5団体)

加藤正樹 黒野郁彦 服部盛彦 細野二郎 滝脇小学校
 豊田少年少女発明クラブ(チーム「アルストロメリア」、2023 OM世界決勝大会代表メンバー、
 2022 OMバーチャル世界決勝大会代表メンバー) 平井小学校

■体育・スポーツ功績者(77人・11団体)

井川原守	石川恭子	石田駆	石原範和	泉光駕	稲葉悠人	伊波菜々	内山雄太	岡安凌玖
奥島琴美	小野大輔	小野剛義	尾矢陽太	鍵山優真	鎌田優希	嘉陽宗一郎	川井麻衣	川口功人
河辺愛菜	北村祥治	切石結女	釘宮陽	國武大晃	後藤希友	齋藤和則	坂口慧	桜井敦貴
櫻井真翔	佐竹功年	佐藤英宣	真田範子	シオサイアフィフィタ	神野ゆめ	田井夏帆	高橋峻也	
高橋花菜	竹葉智子	谷口卓	谷中樹平	百々俊宗	外岡星菜	泊菜々美	豊田湊大	中島未莉
中溝案理	夏目笑	西小野皓大	西山和弥	仁村保郎	丹羽三千代	花井江里子	瀨口琴羽	林康生
原田のどか	稗田一也	姫野和樹	平下愛佳	廣下菜月	福田健太	藤井萌夏	藤井勇介	淵上佳輝
松生理乃	三浦璃来	三木拓也	宮脇光嶺	三輪さくら	村岡桃佳	森井望	門間由美子	山内星
山口真理恵	山本草太	吉田杏子	米川志保	若宮駿士	渡辺一平	中京大学(女子ソフトボール部、 水泳部女子)	豊田工業高等専門学校弓道部	豊田市GMPフロアボールクラブ
							豊田リトルシニア野球協会	
							トヨタ自動車(株)弓道部Aチーム	トヨタ自動車硬式野球部
							豊田フェニックス	豊田ラグビースクール
							トヨタレッドテリアーズ	名鉄学園杜若高等学校カヌー部

■産業功績者(31人)

明樂球志	天野勝美	井口宏文	伊藤善弘	大石浩教	大嶋孝幸	岡田孝行	北川雄基	佐々木航
佐藤茂	塩塚幸之助	篠田篤司	柴田悠杜	島谷美之	正後信幸	高橋幸也	谷上康英	田丸重樹
土江朗	遠島武敏	長山修治	夏目正巳	畑田翼	播戸蒼磨	深津俊幸	平間祐翔	星政寛
星屋忠斉	森崇博	渡邊晋一	渡部達也					

■社会福祉功績者(1人)

生田真由美

■文化功績者(5人)

石黒美行 柴田和則 花柳うた紅 羽根田菫風 村山哲

■地方民生功績者(6人)

浅岡幹雄 内田道広 加藤秋良 成瀬潔 矢田哲夫 山口悦治

■篤行・ボランティア功績者(5人・7団体)

金山尚美 馬場則子 正木純子 松嶋美千代 三宅美枝子 小渡セイゴ水辺愛護会 コスモスクラブ千足
 水源公園を愛する会 にこにこクラブ 本地プラネット 向川サンポクラブ 矢作自治区水辺愛護会

■寄附功績者(4人・10団体)

江尻岩夫 中村泰子 牧寛之 松澤昭夫 アイシン化工(株) あいち豊田農業協同組合 アマノ(株)
 (一財)石田退三記念財団 (株)社会システム総合研究所 TOPPAN(株) 豊田鉄工(株) トヨタホーム(株)
 豊田ルネッサンスライオンズクラブ ひまわりネットワーク(株)

■その他功績者(1人・4団体)

山内敏之 (一社)押井営農組合 豊田市消防団 豊田商工会議所 豊田信用金庫